

株式会社エフエム茶笛

2021年度第5回番組審議会議事録

1. 開催年月日：令和4年1月19日（水）17時00分～18時00分

2. 開催場所：株式会社エフエム茶笛 2階 会議室

3. 委員の出席

委員総数：5名

出席委員数：5名

出席委員：水村雅啓（番組審議委員長）、林田博之、
飯島静江、黒川進、若月真理子

放送事業者側出席者：代表取締役社長 荻野 喜美雄
専務取締役 東 たか子
放送局長 宮岡 洋明
技術制作課長 秋山 知広

4. 議 題：番組の放送内容について

5. 議事概要：

議題に沿って委員より放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めました。

委員長：

それでは、各委員の皆さんからご意見をいただきます。

委員：

FM チャッピーでは、入間市の情報を頻繁に伝えてくださいます。ワクチン接種に関しても予約状況や臨時に行われる接種会場・病院を細やかに伝えてくださり、ここから情報を得られた方もたくさんいると思います。最近では、自治会に若い方は入らない。高齢者の方は、班長などが無理なので抜けられる方が多いです。若い方は様々なツールで情報を得ることができますが、高齢者は限られてしまいます。また、外国人市民の皆様も、紙面での情報は限られてしまいます。まだまだ不安な時世ですので、これからも外国人市民向け放送も含め頻繁に伝えて下さいますようお願いいたします。この事に関して、少し前のことになりましたが、女性パーソナリティが準備不足だったためかスムーズに伝えられないことがありました。これはたまたまだとは思いますが、やはり入間市からの情報は私たちに最も密接した大切な情報になりますので気をつけていただきたいです。

事業者：

パーソナリティ全体に周知し、迅速で正確な情報伝達に努めさせていただきます。

委員：

「とれたてラジオ」の中で、防災豆知識のコーナーをよく聴きます。ここでは危機管理推進協会の奥野幸範さんが防災減災に関して幅広く伝えてくれます。ワンポイントクイズがあったり、知っていそうで知らない話をしたりいろいろ工夫をされています。パーソナリティの峰ゆうこさんとの受け答えも楽しく、長年聴いていますが、その度に日々の生活に活かせるヒントを得ています。また、来週のテーマも伝えてくれますので次回も楽しみになっています。FM チャッピーでも防災減災に関していろいろな取組をされていますが、毎週決まった時間にこのようなコーナーがあるのは大切な事だと思います。

委員：

先日、FM チャッピーを聞いていましたら電話インタビューが始まり、開ロ一番ゲストの方が、「今日は 何を話すか考えていない」と言っていました。この方の話はよく聞きますが、何を伝えたいのか私には分からないことがあります。また、パーソナリティとの受け答えもちぐはぐになることも多々あります。話題がないのであれば、事前に打ち合わせを行うとか、知識を得てフォローするとか、人選を考えると、何らかの方法があると思います。公共の電波ですので、楽しい話、そして聞いていてちょっとほっとするような、また知識を得るような放送にしていきたいです。

事業者：

番組ゲストと事前の打ち合わせ・コミュニケーションが不足していた可能性があります。ご意見をパーソナリティ全体に共有させていただきます。

委員：

番組の中では、様々な工夫をしたコーナーも多く、英会話や、防災・料理・法律など、パーソナリティも丁寧な番組作りをしていると思います。パーソナリティの森尾由香さんは、中継や電話出演した相手の話を、短く上手にまとめて繰り返すということを常にされているような感じがします。聞いている側もとても分かりやすく、相手方のフォローがよくできていると思います。

委員：

個人の感想ですが、地域の情報が少なく、曲をかける時間が長いパーソナリティの方がいる気がいたします。また、主語と言葉の結びの着地点が違い、聴いていてとても気になる方もいます。もう少し勉強していただくと良いかと思えます。

事業者：

パーソナリティ全体にご意見を共有し、今後の番組制作の参考とさせていただきます。

委員：

WEB 会議システム「ZOOM」の話ですが、電話で聴くよりも顔が見えて話ができるインタビュー方式があっても良いのではないかと思います。新しい方法として ZOOM を挑戦してみるのも良いと思います。私は「とれたてラジオ」や「くらしい〜♪」など比較的午前中にラジオを聴いていましたが、最近は夕方の「チャッピーアフター5」も時々聴いています。朝・昼・夜と使い分けた内容になっていると思います。1日の流れができていて、はじめのある番組作りができていたと感じました。

事業者：

ZOOM については、既に番組のリモート出演ツールとして活用させていただいております。電話中継に比べて、音声もクリアなので今後も活用していきたいと考えております。

委員：

入間市の情報を多く発信されていますが、時には入間市以外の狭山市・飯能市の話題も聴けてとても新鮮です。入間市は地元なのである程度知っているから新鮮さが感じられないのか、あるいは他市の方が本当に魅力的なのか分からない所がありますが、行ってみたいという気持ちになります。入間市の人よりも、他市の方のアピール度が一生懸命話していて感心します。聴く側からすると、ただ情報を羅列したものを聴くのではなくて楽しさを感じさせられるような情報を伝えるという方法も勉強になりました。何か喋ったり何か伝えたりする時の手法として、物を伝えるのではなくて、情景や感情も含めた伝達の方法、言葉でしか伝えられないラジオ、そこには制約があるけれど、逆に方法も夢もいっぱい与えられるのではないかと思います。

委員：

アフターコロナを見据えたような話が出てきています。2年も経っていますが、まだまだ色々なことがあると思います。番組でお酒のおつまみの話が出て、飲まないで我慢をしていた人たちには明るく聴き取れたと思いました。やはり時代を見据えて情報を流すのがラジオの仕事だと思しますので、これからは with コロナ・アフターコロナを番組の中に取り入れて欲しいと思います。

事業者：

ご意見を番組制作の参考とさせていただきます。

委員長：

これで、審議を終了させていただきます。

(以上で議事終了)

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申又は改善意見の内容	事業者による対応措置	対応措置の実行年月日
スムーズな情報アナウンスへの改善	パーソナリティ全員へ注意喚起を実施	1月26日
番組ゲストとの事前打ち合わせの改善	パーソナリティ全員へ注意喚起	番組毎に適宜実施

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

本議事録を、下記の日時、方法にて公表・閲覧可能と致します。

- ・1月26日より、弊社ホームページ（URL <http://www.fmchappy.jp>）にて掲載。
- ・1月30日（日）午前7：00～7：27「番組審議会レポート」にてラジオ放送。
- ・書面：自社来客用窓口に据え置き

9. その他の参考事項

特に無し。

以上